

東京都小学校体育研究会 研究の歩み(平成14年度以降)

年度	研究主題	考え方等	国都の動向
平成 14 15 16	豊かなスポーツライフを支える 体育知の創造	「今、目の前にいる子供たちに体育ができることは何か」の発想に立ち、体育を通して学ぶことができる力や知恵を「体育知」と定義し、実践を通して検証を行った。	14: 小学校学習指導要領全実施 16: 東京都教育ビジョン
平成 17 18 19	確かな力をはぐくむ体育学習	体育科全体として育まれる「確かな力」を「運動を楽しむ力」と「健康な生活を営む力」と捉え、その力をはぐくむ授業を追究した。	18: 都小体連・研創立 60周年 19: 中教審(審議のまとめ)
平成 20 21 22	分かってでできる かかわり合っ てつなぐ体育学習 —新学習指導要領の趣旨 を生かした授業モデルを求め て—	分かる(知識・理解)、できる(技能)、かかわり合う(態度・協力)、つなぐ(意欲・持続・活用)をキーワードに、各領域の「授業モデル」を作成しその質を高めた。	20: 中教審答申、小学校学習指導要領告示、移行措置期間、第1期教育振興基本計画、東京都教育ビジョン(2次)
平成 23	児童一人一人の力を伸ばす体育 授業の工夫 —授業モデルの活用を通して—	研究領域の改編に伴って「授業モデル」を整理・統合し、児童の実態や運動特性に応じ指導の在り方を工夫し、児童の力を伸ばす授業を追究した。	23: 改訂小学校学習指導要領全面実施
平成 24 25	運動の楽しさや喜びを味わい、 意欲的に実践する力を身に付け る体育学習	「指導と評価の一体化」を研究の重点とし、自ら学び、基礎・基本を主体的に身に付けることができる体育学習を追究した。	25: 第 52 回全国学校体育研究大会(東京大会)、第2期教育振興基本計画、東京都教育ビジョン(3次)
平成 26 27 28	一人一人が学ぶことの楽しさを 味わい、進んで運動に取り組む 力を身に付ける体育学習	児童一人一人が学ぶことの楽しさを味わうことにより、進んで運動に取り組む意欲を高め、思考力・判断力を働かせ課題解決的な学習に取り組めるようにする体育学習を追究した。	27: 都小体連・研創立 70周年 28: 中教審答申
平成 29 30 令和 元	三つの資質・能力の関係性を明確 にし、運動や健康についての課題 に主体的・協働的に取り組む児童 の育成	児童が自ら進んで課題を見付け、友達と共にその解決を図る学習過程を通して、三つの資質・能力をバランスよく身に付けるようにする体育学習を追究した。	29: 小学校学習指導要領告示、移行措置期間 30: 第3期教育振興基本計画 元: 東京都教育ビジョン(4次)
令和 2 3 4	一人一人の子供が 自ら深い 学びを実現していく体育学習	一斉一律の課題解決的な学習から脱却し、一人一人の子供の能力や関心に応じて、各領域期の特性を踏まえた課題解決的な体育学習の実現を目指した。	2: コロナ禍による全国一斉休校、改訂小学校学習指導要領全面実施、「令和の日本型教育」答申
令和 5	互いに学び合い、自らの学びを 深めていく体育学習	子供が多様な仲間と互いに学び合いながら、子供自身が自らの学びをより一層深めていけるようにする体育学習の在り方を追究した。	5: コロナ第5類移行、第4期教育振興基本計画
令和 6~	自ら学び続ける力を、仲間と共に 身に付けていく体育学習 —運動の楽しさや課題解決 の喜びを味わうことを通 して—	子供に学びを委ね、仲間と協働し、学習サイクルを自ら回し続けることで、自立した学習者としての資質・能力を身に付けていく体育学習の在り方を追究する。	6: 東京都教育ビジョン(5次) 7: 都小体連・研創立 80周年

※一覧には、平成14年度小学校学習指導要領全面実施以降の「研究の歩み」を掲載しています。